



BLUE
ROSE
AWARD

第4回

活躍する
女性リーダー表彰

(愛称:ブルーローズ表彰)



表彰式

2026年3月5日(木)

大阪商工会議所



ごあいさつ



大阪商工会議所
会頭

鳥井 信吾

「第4回活躍する女性リーダー表彰（愛称：ブルーローズ表彰）」を受賞されました皆様方、誠におめでとうございます。

大阪商工会議所は、中期計画「挑戦都市 やってみなはれ！大阪プラン」（2023～2025年度）のもと、大阪の国際競争力強化と持続的成長に向け、「価値創出・課題解決プロジェクト」、「経営基盤強化パッケージ」で構成する数多くの事業に取り組んで参りました。特に、中小企業における人材不足は深刻な経営課題となっており、女性をはじめ、若者・外国人・障がい者・高齢者など、多様な人材の活躍推進に力を入れています。

本表彰は、様々な分野で活躍する女性リーダーを称える象徴的な取り組みであり、第4回目となる2025年度は45人の皆様方が受賞されました。所属される企業・団体の規模や分野は様々ですが、いずれの方も直面する課題に怯むことなく果敢に挑み、確かな成果をあげるとともに、後進の育成や業界・地域社会の発展にも大きく貢献されるなど、まさにリーダーにふさわしい方々でございます。

2025年度開催された「大阪・関西万博」は未来への希望を共有する場となりました。万博を通じて示された多様性や新たな挑戦への姿勢は、大阪の成長に向けた大切なレガシーとして受け継がれていくものと期待しています。本日受賞された皆様お一人おひとりの挑戦と行動は、そのレガシーを体現するものであり、女性リーダーが社会の中で果たす役割と可能性を次の世代へ示しています。

本表彰の受賞者も累計169人となり、また、2016年度から2020年度まで実施いたしました「大阪サクヤヒメ表彰」の受賞者計227人とあわせ、合計396人となりました。受賞者は、業種・職種の枠を超えてつながりを広げ、「大阪・関西万博」でのイベント開催やSDGs達成に向けた取り組みなど、主体的な活動を展開されています。こうした活動の広がりが、多様な人材が活躍し続ける大阪の未来を支える原動力になるものと期待しております。

結びに、本表彰にご推薦・ご応募いただきました会員企業やご関係各位に深くお礼申し上げますとともに、皆様方のご健勝とご活躍をお祈りし、お祝いの言葉といたします。

総 評

「第4回活躍する女性リーダー表彰」を受賞されました皆様方に、心からお祝い申し上げます。

第4回目となる本表彰を実施するにあたり、昨年6月24日に開催いたしました「活躍する女性リーダー表彰選定委員会」におきまして、応募書類や選考の基準・方法等を審議・決定し、7月から応募の受付を開始いたしました。

受賞者の選定にあたりましては、各選定委員による書類審査を経て、11月28日に同選定委員会を開催し、本表彰の選考基準であります「業績」、「人材育成、業務・職場環境改善」「社会貢献、都市魅力向上」に照らし、慎重かつ厳正に審査を重ねた結果、45人が表彰に値すると決定いたしました。

このたびの受賞者の一例をご紹介しますと、海外赴任者の労務管理などに従事し、世界中の社員が活躍できる組織づくりを担ってこられた方、知財分野の専門性を活かし、部門を越えた戦略的な連携により知財活動を推進されてきた方、女性外科医が抱える手術機器の操作性の課題を明らかにし、医療機器におけるジェンダー視点のイノベーションに貢献された方など、本表彰の受賞者として誠にふさわしい方々ばかりです。お一人おひとりのご実績と、その背景にある挑戦と不断のご努力に、選定委員一同、深い感銘を受けるとともに、心より敬意を表します。

本日、このような素晴らしい皆様方を表彰させていただきますことは、選考にあたりました私どもといたしましても、この上ない喜びであります。受賞されました皆様方に改めてお祝い申し上げますとともに、女性リーダーとして今後のさらなるご活躍を期待しております。

最後に、ご推薦・ご応募いただきました会員企業はじめご関係の方々に厚く御礼申し上げますとともに、ご関係の皆様方の今後ますますのご活躍とご健勝を心より祈念いたします。



大阪商工会議所
人材育成委員会委員長
活躍する女性リーダー表彰
選定委員会委員長

長谷川 恵一



受賞者



あかさこ
赤迫 ゆり

南海電気鉄道株式会社
デジタル変革室
データマーケティング部 課長

1995年入社後、情報システム部門で公式WEBサイトやインターネット基盤の導入を主導し、デジタル活用の礎を構築。その後、難波の再開発に携わり「なんばスカイオ」の企業誘致に尽力した。2013年に課長へ昇進。現在はデジタル変革室で顧客接点戦略を統括し、南海ファン育成と顧客ロイヤルティ向上を推進。社内におけるデジタル活用やデータ分析の文化定着にも貢献している。



あきた ゆみこ
秋田 由美子

関西電力株式会社
経営企画室 経営企画部長

1994年入社。営業や企画に従事後、米国WhartonでMBAを取得し特別管理職に就任。海外プロジェクトを牽引し英国洋上風力事業への参画等を実現した。2021年には広報部門で危機管理対応を統括。2025年7月より現職として全社戦略と投資家対応を担当し、130回超の面談や見学会を運営。部門横断プロジェクトで若手リーダー経験を提供するなど、挑戦を後押しする人材育成を推進する。



いかりもと ようこ
碓本 陽子

株式会社櫻製作所
業務部 業務課 チームリーダー

2014年にパートタイマーとして入社し経理業務を担当。人事・労務・総務の知識を習得しバックオフィス全体を支えるスキルを獲得。M&Aによる前例のない業務統合や、コスト削減を牽引した。積極的な業務姿勢と業務改善への取り組みが評価され、19年に社員に転換し、25年より現職。未経験者への丁寧な指導でチーム力を底上げし、福利厚生アプリ導入など労働環境整備を推進。



いけだ あいこ
池田 愛子

関西電力株式会社
株式会社関電アメニックス
代表取締役社長(出向)

1999年入社以来、BtoB営業、PR業務などを経験。東日本大震災により電力不足が懸念された際に、供給状況のお知らせメールシステム構築など関西エリアの省エネ意識醸成に貢献。管理職昇格後、人事部で採用、人材開発、D&I推進等に従事。採用フローの効率化や知見共有により前年比1.5倍の採用計画値を達成したほか、自律的キャリア形成を支援。2025年7月より現職で組織開発を牽引。



いしかわ かなこ
石川 佳名子

一般財団法人大阪デザインセンター
事業推進部 課長

2013年に入職後、セミナー事業にて30本超のセミナーを企画し、認知度向上や顧客層の拡大に貢献。2023年よりデザイン相談やビジネスマッチング業務も担い、顧客課題を丁寧にヒアリングしマッチング成約率を高めたほか、新規事業計画策定を伴走支援するデザイン経営分野を開拓。案件や専門家・会員等の各種データベースを構築することで組織全体の情報共有体制を整備した。2024年より現職。



いしだ みき
石田 美紀

大塚製薬株式会社 新薬開発本部
クリニカルインプリメンテーション部長 兼
治験クオリティ室室長

新薬開発に従事し、臨床試験責任者として多領域の試験を統括。アジア臨床開発部では日中韓の試験を推進し、国際的な協働体制を構築。中枢神経領域のプロジェクトで同社初の抗体医薬の承認取得を達成し社長賞を受賞。若手育成室長として3年間の育成カリキュラムをゼロから構築し次世代育成を推進。2026年より現職。現在は、臨床試験の品質向上や働きやすい職場づくりに尽力している。



いずみさわ
泉沢 あかね

大同生命保険株式会社
大阪トレーニングセンター センター長

1997年入社。営業や営業職員育成を経験後、人材開発部にて育成計画・営業初期教育に従事。外部研修でリーダーシップやダイバーシティの知見を深め、2025年より大阪トレーニングセンター長に就任。大阪エリアにおける年間約60名の新人営業職員の初期教育を統括し、実践的なロールプレイング研修や同行支援等個々に寄り添う伴走型指導で在籍率及び新規開拓目標達成率の向上に寄与。



いたみ
伊丹 しげこ

中外炉工業株式会社
開発本部 商品開発部 課長

2001年入社。2回の育児休業を経て2010年に復帰後、職務発明規程の改訂や実施報奨制度を制度化し、知財を活用した事業競争力強化を推進。商品開発部では開発仕様書見直しやスモールスタート制度導入を進め、迅速かつ柔軟な意思決定を実現。2025年に女性初の技術系管理職に昇進し、若手・中堅社員に挑戦や評価の機会を提供することで、人材育成と組織活性化を牽引している。



いとう かよこ
伊藤 嘉余子

公立大学法人大阪 大阪公立大学
教授 学長補佐

社会的養護・里親支援の研究と実践に長年取り組み、自らも養育里親として顕著な実績を有する。現在は学類長・学長補佐として、子育て中の社会人学生が多い現状を踏まえ、教育・研究現場の持続可能な人材育成や環境改善、女性研究者のキャリア支援にも取り組む。学外においても研修やメディア発信などを通じて、子育て課題や社会的養護の重要性とともに女性の活躍を広く発信している。



うつみ ゆうか
内海 夕香

NTT西日本株式会社
関西支店 ビジネス営業部 本部長

1998年入社。アクセスサービス開発や経営企画等を経験後、2008年にダイバーシティ推進部門にて女性社員比率の向上・育成に尽力。2023年には同社唯一の女性営業部長に就任し約1,000名を統括。地域課題解決や若手育成、生成AI活用推進に注力し、泉北地域や大阪府全体の社会発展に寄与。企業のICT戦略やDX推進、自治体職員へのICTノウハウ展開にも貢献している。



うめはし けいこ
梅橋 啓子

近畿電電輸送株式会社
取締役物流事業部長

通信会社で販売、営業部門を経て管理職登用。顧客ニーズを重視した行動指針を示して販売業績向上に大きく貢献。営業支援システム更改プロジェクトを指揮し、顧客体験を重要視して生産性を向上するDX施策を推進。2024年より現職。顧客目線での業務推進と社員のスキルアップ支援や契約社員の処遇改善に取り組み、顧客体験と従業員体験双方の向上を図ることで3年ぶりの事業部収支黒字化に貢献。



えんどう あき
圓藤 晶

レンゴー株式会社
Tri-Wall Limited, Director of Group Administration, HR & Communication

1996年入社。海外関連事業の統括部署にて、海外赴任者の労務管理等に従事。2011年に管理職へ昇進。海外M&A案件に携わり、卓越した語学力と交渉力で円滑な事業統合に貢献。2020年からは香港・トライウォールグループ本社にて、人事として全世界の従業員が活躍できる体制づくりに尽力。2025年国際段ボール協会（ICCA）総会では司会を務めるなど社外での活動の幅も広がっている。



おおはし なつこ
大橋 菜津子

積水ハウス株式会社
大阪北支店 高槻店 店長

2004年入社。戸建住宅営業として実績を重ね、育児休業を経て2024年に管理職に登用。不動産女性営業ネットワーク「ランズクラブウーマン」を立ち上げ、新たな連携とビジネス機会を創出。チーム営業による多様な働き方を推進し、仕事と育児を両立するロールモデルとして全国の女性営業研修で講師を務めるなど、社内外で不動産業界の女性営業キャリア支援に貢献している。



かこう さよこ
加甲 佐代子

株式会社共和
品質保証室 チームマネージャー

1998年に一般事務として入社。人事・検査業務を経験後、品質保証室へ異動。品質不具合案件の対策未実施をゼロに、品質調査依頼への対応期間も平均14日から3日に短縮するなど、品質保証体制を整備。女性社員や未経験者へのOJTにも注力し、重要業務を担当できる人材を育成。2025年より現職。3回の産休・育休を取得し、子育てと両立してキャリアを切り拓くロールモデルとして活躍。



かしの さやか
柏野 紗耶加

株式会社ポーテ
代表取締役

歯科衛生士として臨床に従事後、歯科ホワイトニング分野にて独立し同社を設立。全国8店舗以上を運営し、年間1万件を超える症例を手がける。歯科医院向け研修プログラムを独自開発し、これまで300医院、500名を超える歯科衛生士を育成。歯科衛生学校の理事として教育分野にも参画。次世代を担う若手人材がライフイベントを経て長く働き続けられるキャリアパスの整備に取り組む。



かなざわ しげこ
金澤 成子

大阪ガス株式会社
広報部大阪・関西万博プロジェクト室室長

入社後、営業・企画・人事を経て初の女性管理者として総務マネージャーに就任。介護・IT事業会社への出向時は人事制度改革や事業拡大を推進。2018年に技術統括部署にて全社の新規事業創出基盤を構築した。2024年に大阪・関西万博ガスパビリオン館長に就任。戦略的な広報で160名強のスタッフを確保。進捗の見える化と丁寧な対話で組織力を高め、高満足度の運営を実現した。



きくち ゆみこ
菊池 由美子

信和商事株式会社
総務部 次長

2022年に事務職として入社後、統括本部へ異動し総合職へ転換。福利厚生制度の導入を推進するなどの成果が評価され、25年に同部次長に就任。人事評価システム導入や360度評価制度の整備、人事データ分析による定着率改善を実現。ボトムアップで「女性活躍推進プロジェクト」を立ち上げ、女性社員が交流・意見交換できる場を創出。組織の活性化とダイバーシティ推進を牽引している。



くぜ さちよ
久世 祥代

タカラベルモント株式会社
化粧品品質保証部 部長

1991年入社。ヘアケア・パーマ剤の研究開発に従事し社内表彰を複数受賞。2000年には高温アイロン対応の縮毛矯正剤を開発。年商8億円超のヒットを実現し業界に大きな影響を与えた。2007年に管理職に登用され、現在は品質保証部長として、薬事・安全管理・品質保証など多機能部門を統括。遠隔勤務の活用やAI導入による効率化など、柔軟に持続可能な職場づくりを推進している。



こうの えみこ
河野 恵美子

大阪医科薬科大学
一般・消化器外科

2001年にキャリアを開始し育児と両立しながら2019年より現職。手術機器の操作性を主観・客観の両面から検証し、女性外科医が抱える課題を明らかにするとともに、その知見を産業界に提供し、電動式自動吻合器の開発に寄与した。ジェンダード・イノベーションの好事例として国際的に高い評価を得る。女性外科医の後進育成にも注力し、学術発信・教育啓発・政策提言を一体的に推進している。



こわき まり
小脇 麻里

株式会社ナカヒロ
執行役員 人事部長

女性総合職2期生として入社後、人事部でキャリアを重ね、出産・育児休業を経て管理職へ昇進。ノー残業デー導入、休暇制度拡充、育児・介護休業の取得環境整備など、働き方改革を主導。残業時間を大幅に削減し、有給取得率を向上させた。1on1ミーティングや社内チャレンジカップなどを通じてコミュニケーションを活性化。働きやすい職場づくりに大きく貢献している。

さかもと よしみ
坂本 芳美清和工業株式会社
代表取締役社長

2020年に代表取締役に就任し、古い慣例の見直しと新戦力補強に注力。従来のルートセールスから脱却し主力商品の周知としてホームページリニューアル等を実施。新規取引先の獲得につなげ、25年には売上前年比40%増を達成した。さらに人材育成の制度化、コンプライアンス勉強会の開催など、働きやすい職場環境を構築している。2024年(株)大正工業会女性初の理事に選任され活動中。

さとう ゆき
佐藤 友紀株式会社RICCA
代表取締役

美容下着とボディケアを融合した独自の取り組みで、美容サロン運営、オンラインフィッティング、認定サロン制度を全国に展開。自社開発のブラジャーやバストクリームなどを製造、25店舗以上の認定店を通じて女性の雇用創出と自立を支援している。乳がん患者が術後も着用できるブラとして医師の許可を取得。下着を通じて女性一人ひとりが自信を持って人生を前向きに歩むための選択肢を広げている。

たかくら いずみ
高倉 泉大阪信用金庫
業務部兼営業推進部 次長

1989年入庫。預金業務を6ヵ店経験後、2008年から管理職。本部異動後、経理部で消費税増税時の現金供給体制の円滑化を主導。その後、事務指導課にて事務ミス撲滅のためのマニュアル作成や研修を実施し、最も多かった分野のミスを3年間で約半減させた。現在は業務部兼営業推進部次長として投資信託の知識向上を推進し、クラブ活動では本部と営業店職員の垣根をなくす組織風土づくりに尽力。

たかだ さとみ
高田 里美田辺ファーマ株式会社
監査役

入社以来、医薬品の安全管理業務や監査業務に従事。リスクの高い領域を対象に調査するリスクアプローチ監査や経営課題に着目したテーマ監査の導入を主導し、内部統制の強化に貢献した。公認内部監査人(CIA)等の資格取得支援制度を整備することで資格取得者の増加を実現。監査部門全体の専門性と信頼性を高めた。現在は同社初の女性役員として、後進のロールモデルとなっている。

たけつな ゆきこ
竹綱 由紀子エスペック株式会社
技術管理部 部長

2001年入社。知財担当として、特許権取得、先行技術調査を中心に知財業務に幅広く従事。2013年に弁理士登録。出願判断基準の策定、管理職向け教育の導入、技術部門との連携強化等に取り組み、発明提案者数を倍増させた。2018年の管理職登用後も戦略的な知財活動への転換を推進。2020年より現職。知財活動を含め技術経営を推進。外部活動への参画も積極的に行っている。

たにおか のりこ
谷岡 紀子大和ハウス工業株式会社
経営管理本部渉外部大阪渉外室 室長

事務職として入社後、秘書室に異動。数年後、当時の社長を、会長CEO、名誉顧問になるまで、長年にわたり担当し経営層を支えた。管理職登用後は、東西秘書室の連携強化のため、オンラインミーティングや情報共有の仕組みを導入。働き方改革と後進育成を推進し、女性管理職のロールモデルとして組織変革を牽引。2024年より現職。関係各所との調整を担い、企業の存在感を向上させている。

でみず じょうこ
出水 浄子株式会社桜花研究所
取締役

保育士経験を経て、2023年に土業・経営コンサルティングに転身。幼児教育で培った傾聴力や観察力を活かし、子育て世代への法務・労務支援や心理的配慮を伴う助言や資料作成を担う。特に事業承継・相続案件では家族関係や感情に配慮した提案で大口契約を獲得。複数土業と連携し、業務フローや役割の可視化を行い、支援対象者の課題を多角的に把握し円滑な案件進行に貢献している。

なかしま じゅんこ
中嶋 順子グンゼ株式会社
執行役員 コーポレートコミュニケーション部
部長

1987年入社。アパレル営業・企画・生産等を経験し、販売と生産連携のしくみ作りやコストの見える化により収益拡大に貢献。2021年より現部署部長として創立130周年プロジェクト、消費者や関係先とのコミュニケーション戦略等を推進しブランド価値向上に貢献。女性活躍推進プロジェクト立ち上げメンバーとして社内意識改革を牽引。2024年より初の新卒入社女性執行役員として後進育成に尽力。

なかしま じゅんこ
中嶋 順子株式会社ロイヤルホテル
PR&デザイン室 室長

1999年入社。レストランサービスや人事の経験を経て、リーガロイヤルホテル広島の管理部門にて研修センター立ち上げや現場連携の仕組みを整備。その後、女性初の料飲部長として約70名を統括し、収益構造の改善と人材育成に注力。2025年にはPR&デザイン室長として話題性の高い企画を実施し、半年間でメディア掲載件数は前年同期比約18.2%増加。リブランドに大きく貢献した。

なかもと みほこ
中本 美穂子日本生命保険相互会社
本店法人市場部 法人市場部長

1989年入社。21年間、営業現場で人材育成と業績向上に注力。その実績から2017年には本部育成課長として全国の営業管理職育成を担当。個別面談や現地支援、マネジメント関連ツールの提供等により150名以上の女性管理職誕生に寄与。コロナ禍にはデジタル営業など営業活動の進化を推進した。2023年に支社長に昇格し2025年より現職。新卒営業職員の育成と業績向上に取り組む。



なかやま
中山 あゆみ

西日本旅客鉄道株式会社
経営戦略本部 人財戦略部
ダイバーシティ推進室長(理事)

1994年入社。駅務・人事を経て2013年に管理職へ昇進。駅長として14駅を統括し、インバウンド急増期にはメンバーとともに嵐山エリアで多言語放送・案内表示を初導入し人財育成に貢献した。

2023年には初代ダイバーシティ推進室長として女性管理職比率向上を主導。育成計画や支援策の整備により女性リーダー・管理職の増加を実現しグループ全体のD&I推進を牽引。2025年度より現職。



のせ えつこ
野瀬 英津子

テレビ大阪株式会社
事業局 イベント担当 チーフプロデューサー

入社後、広報や事業局でイベント企画・運営に従事。出産・育児休業を経て復職後は、人事部でリモート勤務制度整備、オンライン採用導入、年功序列に縛られない成果重視の給与規定の策定などに貢献。2023年、再び事業局配属後は「アート&てづくりバザール」や「にゃんこ博覧会」などアートやペット関連イベントを拡充・新規企画。過去最高収益を達成しチームで担当局長賞を受賞した。



はぎわら かおり
萩原 嘉織

株式会社大林組
大阪本店建築事業部営業第二部 担当部長

1992年入社。工務・見積りに従事したのち、女性初の営業部配属となる。営業部では、顧客との信頼関係を築き、情報収集や人脈形成を通じ高利益率の受注を実現。仕事と育児の合間をぬって一級建築士資格を取得。その後、同社初の女性営業部長に就任。

技術的内容を文系事務職員が理解できるよう整理・伝達し業務を円滑に推進。先輩の自律性を重んじる指導でキャリアアップを支援している。



はらだ まゆみ
原田 真由美

株式会社りそな銀行
業務サポート部担当 執行役員

1990年に入社後、窓口業務や金融商品販売など幅広い経験を経て、店頭業務を統括する管理職に就任。現場視点を活かした店舗運営の効率化を主導し、事務量の40%削減、伝票処理約1万枚の減少を実現。現場の声を反映した意見交換や実践研修を通じて顧客対応の質を高め、人財育成と職場風土の醸成に取り組む。女性管理職層への定期的な面談や助言等、次世代女性リーダー育成に尽力。



ファン・テイ・トウイ・ハン

信和商事株式会社
南港営業所

2024年入社。前任者不在かつ業務マニュアルが未整備の状況から業務体制を再構築。独学でマニフェスト管理を習得し、入社半年で実績管理専門職へ転換。日次業務から管理補助まで幅広く担当し、業務改善や生産性向上に貢献。さらに、他の外国籍社員

が抱える言語や文化の課題に対する相談・指導役を担い、多文化環境で社員が能力を最大限発揮できる基盤づくりに寄与している。



ふじもと えみこ
藤本 恵美子

カナデピア株式会社
品質保証統括部 品質企画部長 兼
夢洲エリア開発推進室長

1993年入社。熟・流体技術の専門家として30機種以上の製品開発に従事。2016年から課長としてリモート解析環境整備や育休取得100%達成など職場改善を推進。2019年から夢洲エリア開発推進室長として大阪・関西万博における自社の体験型展示を企画運営。2026年より現職で全社品質向上に取り組む。社外では被災女性支援団体を設立運営したほか、大学客員教授として次世代育成にも尽力。



まつうら あかり
松浦 朱里

マツ六株式会社
開発本部 広報宣伝部
広報デザイン課 課長

2003年入社。通販部門で10年以上マーチャンダイザーを経験後、高齢者向けバリアフリー商品の販売促進に従事。誤使用防止の販促資料やFAQ、データベースを整備し、商品の使用・施工に関する問合せ対応時間を大幅に削減。効率化と社員育成を両立。SNS等で社外発信も担当。製品安全活動を推進し、自社の2024年度製品安全対策優良企業表彰(経済産業大臣賞)受賞に寄与。2025年より現職。



まつだ みほこ
松田 三保子

東洋テック株式会社
ウェル・ビーイング推進部 部長

1999年入社。人事部で課長・次長を歴任し、女性リーダー研修や育児・介護支援制度の企画・運用を通じ女性社員のキャリア形成と離職率低下に貢献。2025年に新設したウェル・ビーイング推進部に同社初の女性部長として就任。オフィスカジュアルや旧姓通称使用など働きやすい職場環境を実現。創立60周年事業の全社ワークショップを主導し、部署の垣根越えた活発な議論を促進した。



みづうら しょうこ
三浦 翔子

株式会社関西みらい銀行
千林西支店 支店長

2006年にパート入社。窓口営業と資格取得で実績を伸ばし正社員登用。2015年に課長に昇進し、部下のスキル可視化や営業指導に注力した。副支店長に昇進後は複数支店を統括し、小規模店の支援体制や地域連携を強化。2023年に支店長就任。部下の適性をふまえた業務再配分で運営コストの比率を69%から50%へと引き下げ、支店の経営効率・組織力の向上に大きく貢献している。



みづばた まゆみ
溝端 真由美

マツ六株式会社
管理本部 総務部 人事課 課長

2006年入社。役員秘書や総務業務を経て、2019年に管理職に就任。経営戦略と連動した社員の健康増進を進め、健康アンケート分析やアプリ導入で生活習慣改善を推進。2025年に健康経営優良法人ブライト500に認定される。女性管理職登用、ウェルビーイングプロジェクト立ち上げ、健康リテラシー向上など、社員がいきいきと働ける環境づくりを通して社会に貢献する企業を目指し取り組んでいる。

みやざわ みちこ
宮澤 道子

関西大学大学院
心理学研究科博士後期課程 「考動力」「革新力」
人材育成プロジェクト

看護師・産業保健師を経て、2023年度より関西大学大学院博士後期課程在籍。保健師時代は推進リーダーとして職場環境改善活動や健康保険組合との禁煙プロジェクトを牽引。現在は企業のメンタルヘルス対策を研究テーマに臨床心理学の視点から参加者の well-being のためのセルフケア研修を開発中。大阪サクヤヒメ SDGs 研究会に所属し調査・研究発表等を通じて女性活躍推進に取り組んでいる。

もりもと あきこ
森本 明子

公立大学法人大阪 大阪公立大学
教授 学長特別補佐

2017年に大阪府立大学に准教授として着任。現在は大阪公立大学大学院看護学研究科教授。看護情報学、ヘルスデータサイエンス、ヘルスコミュニケーションの研究・教育で卓越した成果を挙げ、働く世代の健康支援や健康格差是正、看護実践の質向上に寄与。学長特別補佐として、社会課題への挑戦や女性研究者・留学生の育成を推進。厚生労働省や AMED の委員等を務め、学術の発展に貢献している。

やぎ ゆうこ
八木 裕子

大阪シティ信用金庫
支店長

2001年入庫。営業店で預金業務などを経験後、2024年に支店長に昇進。顧客に寄り添う対応を部下に指導し、既存・新規顧客双方の獲得に注力することで、実績を大幅に増加させた。顧客満足度向上委員会の委員長も務め、従業員満足度向上のための職場環境改善や業務プロセスの標準化を推進。時短勤務制度やバックアップ体制を拡充する等、女性職員の働きやすさ向上にも貢献している。

やばな けいこ
矢花 桂子

株式会社池田泉州銀行
泉ヶ丘 兼 東山支店長

1995年入行。一般職として勤務後、2004年に総合職へ転換。育児と仕事の両立を図りながら CFP 資格や FP1 級を取得し、学びを重ねて成長し続ける姿が社内のロールモデルとなった。2017年に支店長へ昇格後、現在までに4支店を運営。チームでの目標達成を重視し、業績伸展をメンバーに意識づけ主体性を育みながら、仕事を俗人化させない協力体制の構築を推進している。

よしろ せいこ
豫城 聖子

学校法人エール学園
募集開発事業本部 本部長

2008年入職後、社会人教育・求職者支援訓練・留学生のキャリア支援など幅広く担当。2023年より現職として国内外の学生募集を統括。現地への訪問や面談により信頼関係を構築することで募集成果を上げ、日本留学 AWARDS にて大賞を7回受賞に寄与。さらに Web 出願導入で窓口の混雑緩和と職員残業の約35%削減を実現。多様な職員が力を発揮するチームづくりを推進している。

愛称「ブルーローズ表彰」について

女性リーダーがガラスの天井を打ち破ることを応援するため、3月8日の「国際女性デー」のシンボルであるバラ、なかでもかつては不可能とされたものの、日本企業が開発した世界初の青いバラにちなみ、本表彰の愛称を「ブルーローズ表彰」としました。

ロゴマークコンセプト

濃淡の異なる青色を使用し、中心から相互に絡み合って大きく花開いているようすは、周囲を巻き込んで活躍する女性リーダーを表現しています。



BLUE
ROSE
AWARD

表彰式 次第

日時

2026年3月5日(木)
15:00～

場所

大阪商工会議所
7階 国際会議ホール

次第

開会あいさつ 大阪商工会議所 会頭 鳥井 信吾
選定委員長による総評 大阪商工会議所 人材育成委員会委員長 長谷川 恵一
表彰楯授与
お祝いメッセージ 近畿経済産業局長、大阪府知事、大阪市長、日本商工会議所会頭
励ましのことば 大阪商工会議所 副会頭 黒田 章裕
受賞者のことば エスペック株式会社 技術管理部 部長 竹綱 由紀子氏

表彰概要

● 活躍する女性リーダー表彰について

2003年に政府は2020年までに指導的地位に占める女性の割合を30%にする目標を掲げましたが未達成となりました。2020年に取りまとめられた「第5次男女共同参画基本計画」では、新たな数値目標（2020年代の早期に30%程度）が設定され、大阪商工会議所も同目標の達成を後押しするため、女性リーダー育成や働きやすい環境整備を支援するためのセミナーや交流会等を実施しております。

本表彰は、企業における女性の役員・管理職登用への取り組みを促進するとともに、ロールモデルの紹介や女性リーダーのネットワーク構築を支援します。

● 表彰の種類 ブルーローズ賞

● 表彰対象

下記①～③のいずれかに該当し、今後さらなる活躍が期待され、後進のロールモデルとなる方。応募は1社2名まで。

- ①大阪商工会議所法人・団体会員に属する女性役員（取締役・執行役員等）、管理職、管理職に相当する高度な専門職の方
- ②大阪商工会議所個人会員である女性個人事業者
- ③大阪に活動拠点をもち社会貢献・都市魅力向上に携わる女性

● 選定方法 「活躍する女性リーダー表彰 選定委員会」にて応募書類に基づき審査を行う。

大阪商工会議所 人材開発部 研修・採用支援担当
〒540-0029 大阪市中央区本町橋2-8
TEL 06-6944-6499
HP <https://www.osaka.cci.or.jp/bluerose/>



本冊子に記載している情報は
2026年2月現在のものです。